

科目名	基礎看護Ⅳ (清潔・衣援助技術)				DP1、DP2、DP3 DP4、DP6		看護高等課程
学年	1年	分野	専門 基礎看護 基礎看護技術	時間数	30時間	担当教員	専任教員
科目概要	基礎看護技術として、対象の生活の要素である清潔・衣生活と健康の関わりを理解する。また、基本的欲求が充足できるよう科学的根拠に基づいた日常生活援助技術が安全・安楽に提供できるように、演習を多く取り入れた。身体を清潔にすることは皮膚の生理機能を円滑にすると共に、気分を爽快にして日常生活を過ごす事につながる。						
到達目標	1. 健康的な日常生活を作りだす必要条件を説明できる。 2. 対象者の日常生活を見つめる看護の視点を述べるができる。 3. 対象者の日常生活への援助（清潔）が実施できる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～15	清潔の援助	皮膚の清潔、清潔援助の目的、全身の清潔(入浴、シャワー浴、全身清拭、部分清拭、手足浴、陰部洗浄)、頭皮・頭髮の清潔(ケリーパッドを用いた洗髪、洗髪車の洗髪、)朝夕のケア、衣生活の援助、衣服の機能、寝衣交換				講義 演習	専任教員
	清潔の援助技術	清潔援助の実際  〔 全身清拭・部分清拭 洗髪 寝衣交換 〕				講義 演習	
	清潔援助技術試験	清潔援助技術				技術 試験	専任教員
	試験					試験	専任教員
評価基準	下記評価方法によって100点満点とし6割以上を合格とする。特に、技術試験は、臨地実習において受け持ち患者に提供する技術のため、技術試験配点の6割以上を合格とする。尚6割に満たない場合は技術の再試験を行う。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。また、演習の内容によっては、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	新看護学 7 基礎看護 [3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床 看護後術 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							